

SB58報告会 GST交渉について

2023.07.14 SB58報告会



本日の流れ

A

導入

B

GST関連イベント・交渉の様子

C

COP28にむけて

A. グリーンピース・ジャパンの紹介

■世界に広がるグリーンピース

地球規模のネットワークと機動力を生かし、国境を越えて活動を展開しています。

●グリーンピース・インターナショナル(本部 オランダ・アムステルダム)
リーガール(法律)ユニット(ベルギー・ブリュッセル)



“地球に良いこと”が特別なことではなく、日々の暮らしやビジネス、あるいは政策決定の場で、当たり前のよう実践されていく。そんな社会を実現するために、グリーンピース・ジャパンは、科学的根拠に基づいた確度の高い提案と、徹底した現場主義を軸に、“行動するNGO”として環境への想いを同じにする日本中の人々と共に、気候変動に脅かされることのない多様で平和な未来をめざします。

個人からの寄付のみ(政府・企業から独立)

- ❖ 世界300万人の寄付者
- ❖ 世界55以上の国・地域で活動
- ❖ 船を3隻 保有
- ❖ 世界中に2500人以上のスタッフ
- ❖ 平和的 direct action
- ❖ 東京オフィスは30年以上の歴史

1. グローバルストックテイク(GST)とは

パリ協定14条にて、以下のように規定

1. CMAにおいて、この協定の目的及び長期目標の達成に向けた全体的な進捗を評価するため、協定の実施を定期的に確認する。これは衡平及び利用可能な最良の科学に照らし、包括的かつ促進的な方法により、緩和、適応、実施手段及び支援について検討する。
2. CMAは、CMAが別段の決定を行う場合を除くほか、最初の世界全体の実施状況の確認を2023年に、その後は5年ごとに、これを行う。
3. 世界全体の実施状況の確認の結果は、締約国が、この協定の関連する規定に従って自国が決定する方法により、行動及び支援を更新し、拡充する際の情報となる。

誰が？(主体)



CMA

目的？



この協定の目的及び長期目標の達成に向けた全体的な進捗を評価するため

方法？



- a. 衡平と及び利用可能な最良の科学に照らし、
- b. 包括的かつ促進的な方法により緩和、適応、実施手段及び支援について

内容？



パリ協定の実施状況に関する定期的な検討を行う

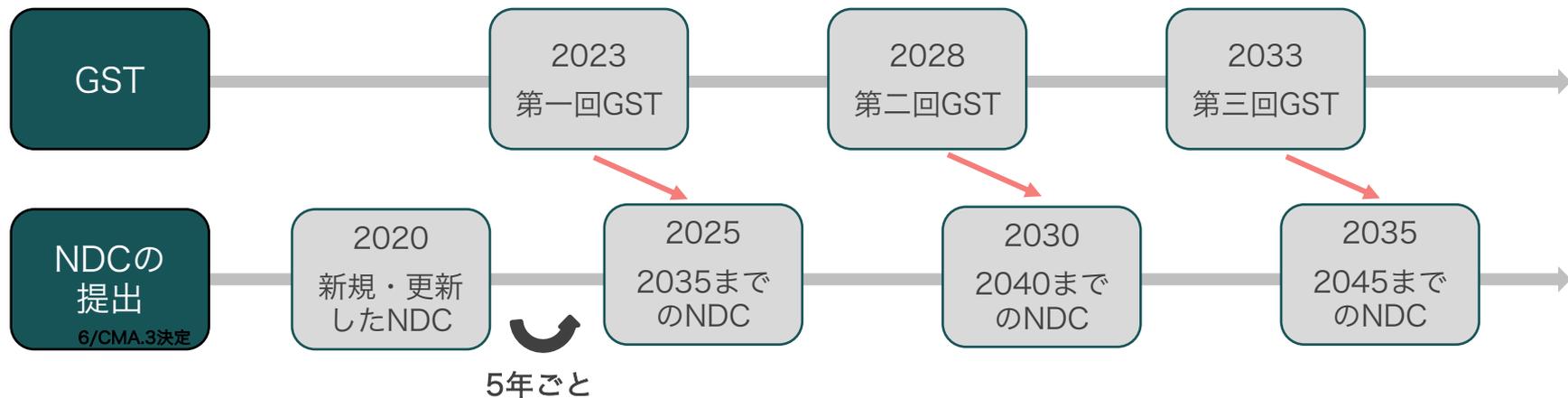
期間？



2023年より5年毎

1. パリ協定のエンジン、国別目標(NDC)を監視し、強化するGST

パリ協定では、加盟国に、2020年以降の削減計画についてNDCの設定を求めている。



長期気温目標に向けた世界全体の進捗するという、パリ協定の全体的な進捗を図る唯一のアカウントビリティメカニズムとなっている。

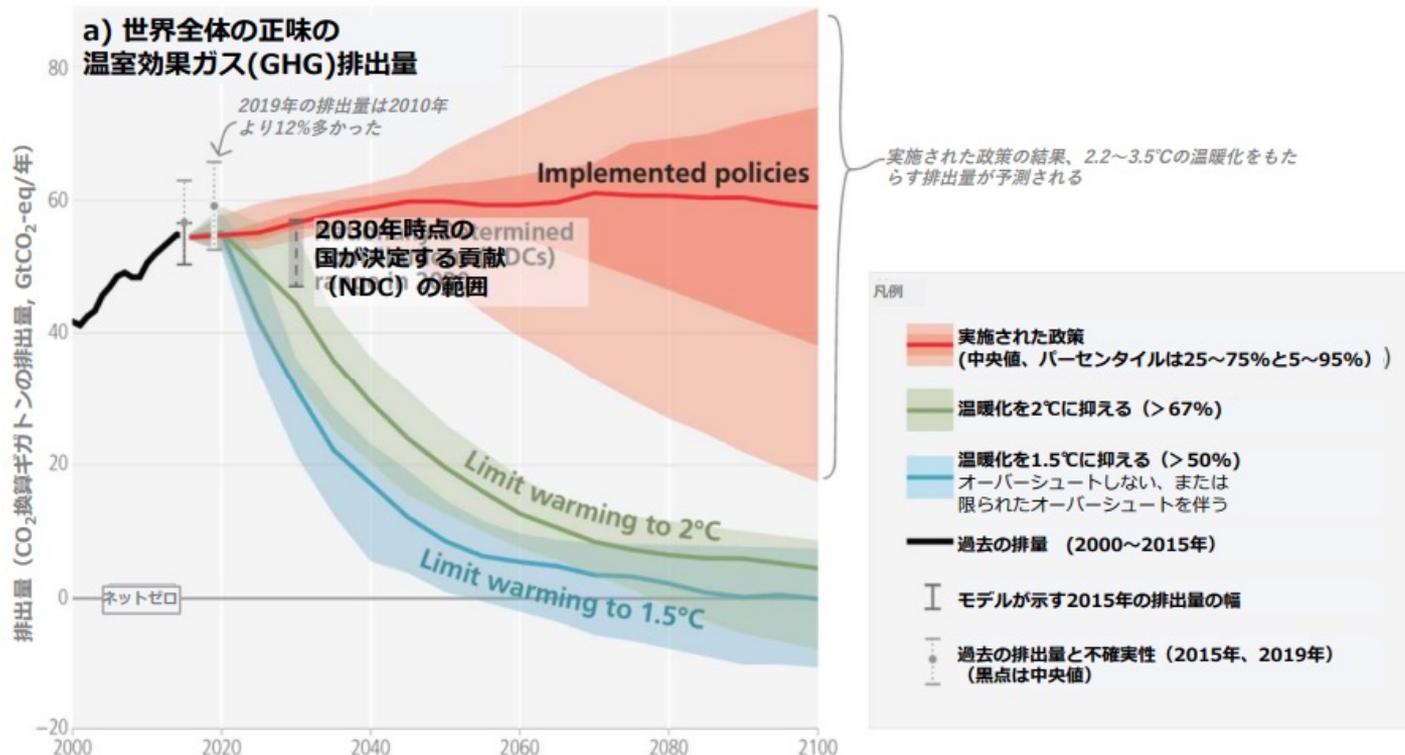


次のNDCは、2035だが、2030までの削減量を増やさなければ1.5度は達成できないことから、GSTの成果が非常に重要=失敗できないGST

1. パリ協定のエンジン、国別目標(NDC)を監視し、強化するGST

温暖化を1.5°Cと2°Cに抑えるには、急速かつ大幅で、ほとんどの場合緊急にの温室効果ガスの排出削減が必要である

CO₂正味ゼロ及びGHG正味ゼロの排出量は全ての部門における大幅な削減によって実現しうる



☒ SPM.5(a)

1. グローバルストックテイク(GST)のテーマ(例)

緩和

- ・NDCsの全体的効果
- ・温室効果ガスの排出量と除去量、および締約国が実施した緩和努力の状況

適応

- ・観測されたリスクと予測されるリスク
- ・適応への取り組み、支援、経験、優先事項の状況

損失と被害

- ・気候変動の悪影響に伴う損失と損害を回避し、最小化し、対処する。

実施手段

- ・資金の流れと財政支援
- ・テクノロジー
- ・能力開発

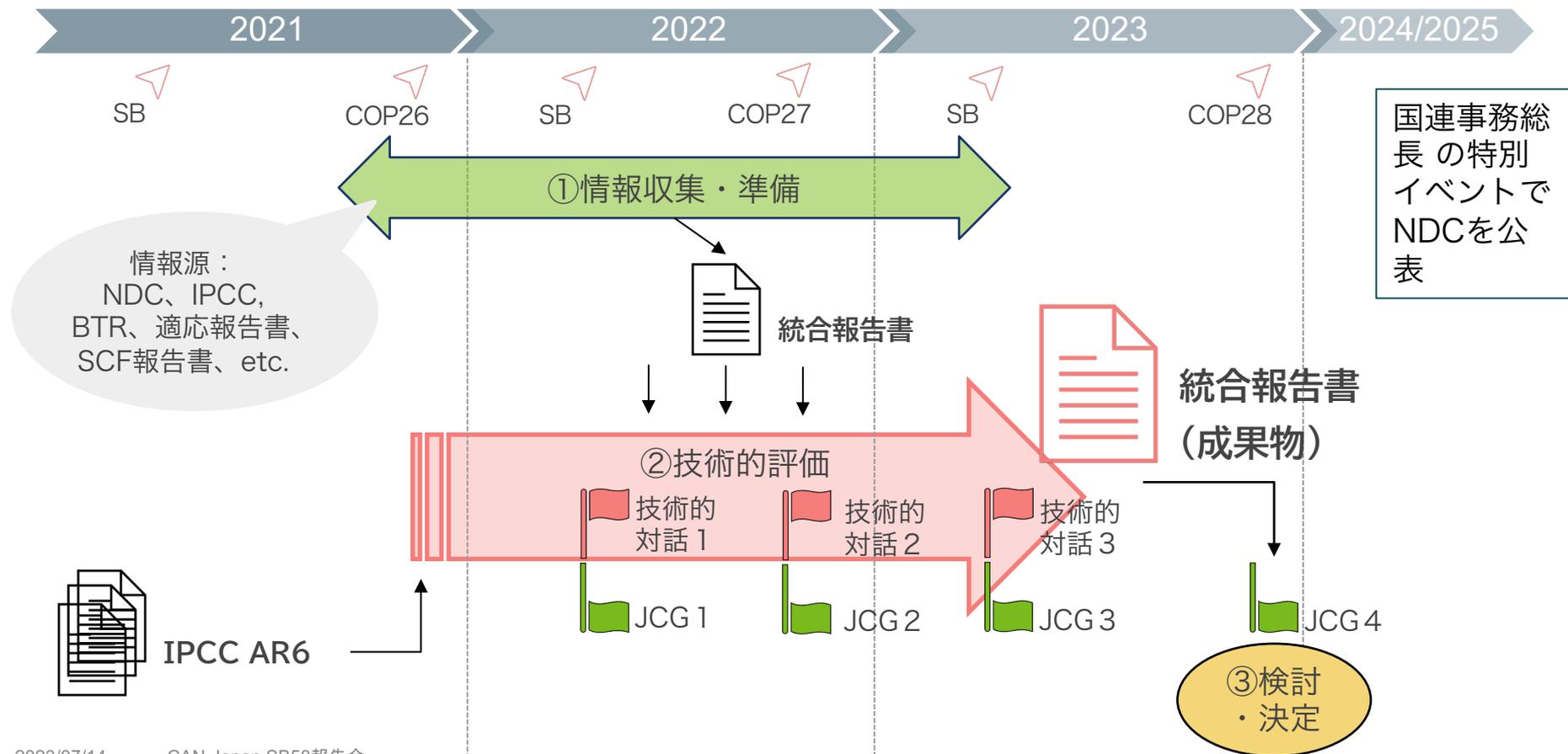
分野横断的テーマ

- ・締約国がNDCで表明した衡平性を含む公平性への配慮

対応措置

- ・-対応措置の社会的・経済的影響に対処する；

1. 第一回GSTの日程



1. SB58:技術的対話(TD)の議論

共同ファシリテーター：



□ Harald Winkler
(南アフリカ)



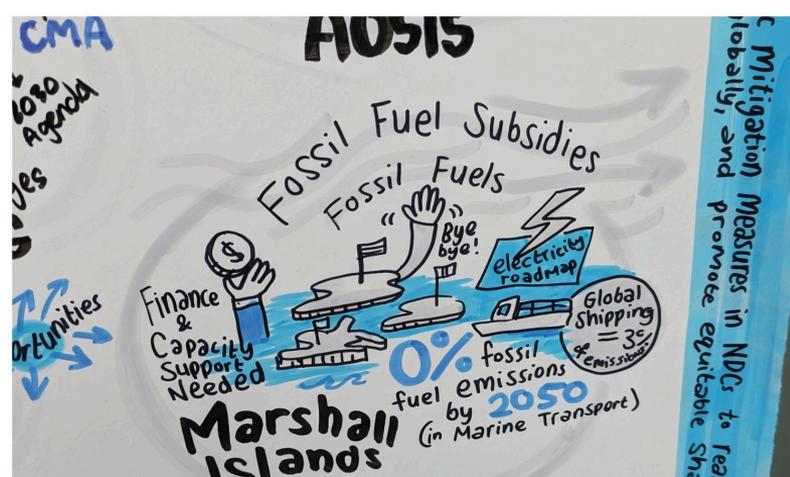
□ Farhan Akhtar氏
(米国)

Date	Time	Event
Tues 6 June	10:00- 13:00	GST/TD 開会プレナリー
Tues 6 June	15:00-18:00	GST TD ワールドカフェ
Wed 7 June	13:00-15:00	GST TD ポスターセッション
Wed 7 June	15:00-18:00	RT1 緩和 (対応措置を含む)
Thurs 8 June	13:00-15:00	GST/TDツールのテスト
Thurs 8 June	15:00- 18:00	RT2 適応 (被害と損失を含む)
Fri 9 June	10:00-13:00	RT 実施手段と支援 (資金、技術、能力)
Sat 10 June	15:00-18:00	RT 統合的・包括的アプローチ
Tues 13 June	10:00-13:00	GST/TD1.3 閉会プレナリー

1. SB58:技術的対話(TD)の議論

TDが今回で終わることを受けて：

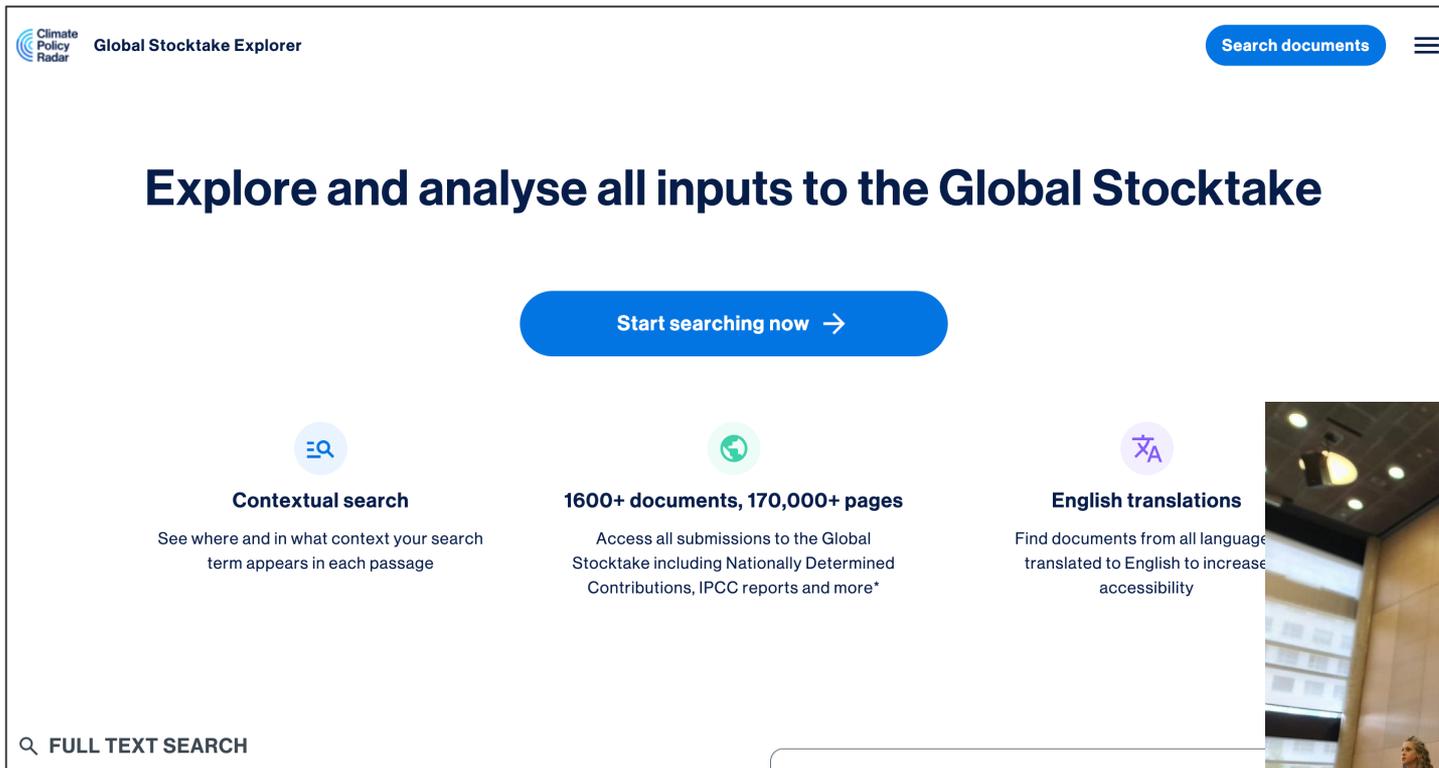
- このTDが、COP世界でこれまでに無いインタラクティブで参画的なプロセスを展開したことを評価
- ポスターセッションで、剥がされた人がいたこともあったり、問題が一部あり。
- ジェンダーが多くの議論でハイライトされた。
- 一方GSTの役割やスコープをめぐり、閉会にて非常に厳しいやり取り。
- 今後政治的プロセスに映るにあたり、HLC（ハイレベル委員会）のビジョン&ロードマップが出てこなかったことに大きく懸念
- 議長が、COP28までにどのように政治的動員を行っていくのか、これまでにあったビジョンから後退。
- これまでの議論をまとめた報告書は9月に公開予定。



第3回技術的対話の様子



1. SB58: GST/TDツールのテスト



The screenshot shows the homepage of the Global Stocktake Explorer. At the top left is the 'Climate Policy Radar' logo and the text 'Global Stocktake Explorer'. At the top right is a blue 'Search documents' button and a hamburger menu icon. The main heading reads 'Explore and analyse all inputs to the Global Stocktake'. Below this is a large blue button that says 'Start searching now →'. Three feature cards are displayed: 'Contextual search' with a magnifying glass icon, '1600+ documents, 170,000+ pages' with a globe icon, and 'English translations' with a language icon. At the bottom left, there is a search bar with the text 'FULL TEXT SEARCH'.

Climate Policy Radar Global Stocktake Explorer

Search documents

Explore and analyse all inputs to the Global Stocktake

Start searching now →

Contextual search
See where and in what context your search term appears in each passage

1600+ documents, 170,000+ pages
Access all submissions to the Global Stocktake including Nationally Determined Contributions, IPCC reports and more*

English translations
Find documents from all languages translated to English to increase accessibility

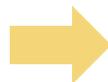
🔍 FULL TEXT SEARCH

<https://gst1.org/>



1. SB58:GSTフェーズ3

「成果物の検討」は「閣僚級」



閣僚級の政治的関与が必要！

ところが…

- COP27で「HLCに対し、HLイベントの計画と進捗をSB58で報告するよう要請」としたのに、ロードマップ等示されず、COP28まで、何もやらない（のか？）という疑問が。
- TDの報告書をうけていきなりCOP28では、よい成果物は合意できない(時間不足！)



1. SB58:GSTフェーズ3

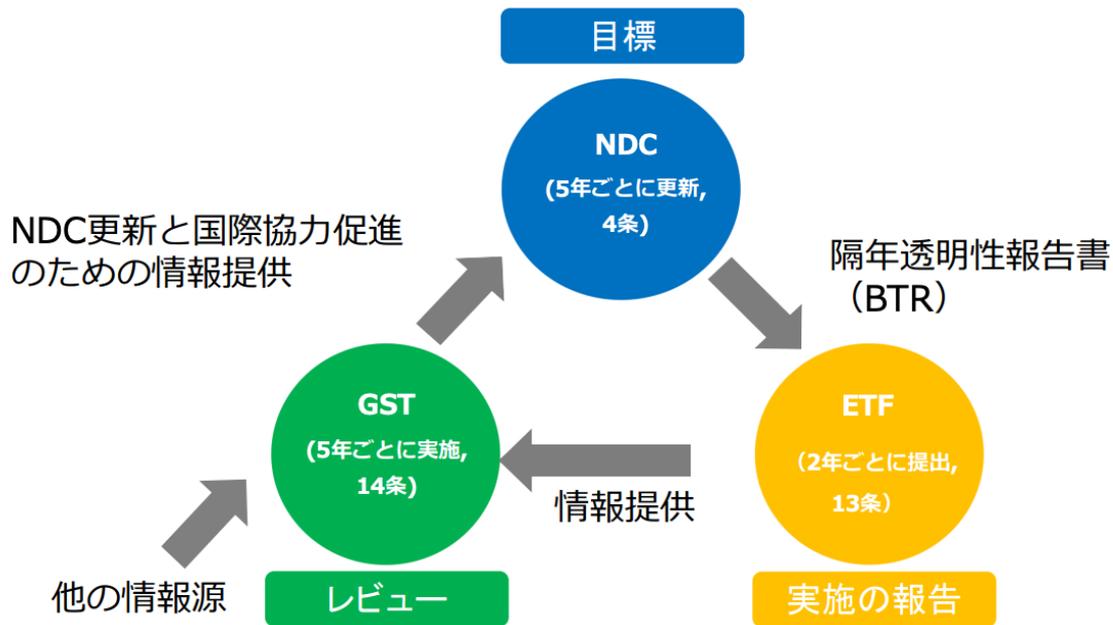


図1 野心度引き上げメカニズム (Tamura, Suzuki and Yoshino, 2016)

1. SB58:第3回ジョイントコンタクトグループの議論

共同ファシリテーター：



□ Alison Campbell (イギリス) □ Joseph Teo氏 (シンガポール)

交渉当初から出てきていた方向性：
GST成果文章の枠組み（アウトライン）に合意すること。

示唆的なCMA 5におけるGST成果文章草案構造

- A. 前文
- B. コンテキスト・イシュー横断的な考慮
- C. 衡平性と入手可能な最善の科学に照らし、パリ協定第2条第1項(a-c)を含め、パリ協定の目的および長期目標の達成に向けた集団的な進展を図り、締約国に対し、国ごとに決定された方法で、行動および支援を更新し、強化する際の情報を提供する。

C.1 緩和

C.2 適応

Alt1: C.3 資金フロー及び実施手段と支援

Alt 2 C.3 資金フローを含む実施手段と支援

Alt.3 C.3 実施手段と支援

Alt.4 C.3 資金の流れを温室効果ガスの低排出型の、かつ、気候に対して強靱な発展に向けた方針に適合させること。

C.3bis 実施手段と支援]

C.4 被害と損失に関する努力

C.5 対応措置に関する努力

- D. 気候アクションのための国際協力の強化
- E. ガイダンスとこれから

合意できず！

1. SB58:第3回ジョイントコンタクトグループの議論

対立事項

1

方向性ある書きぶりか、ニュートラルな書きぶりか。

2

2.1.c(資金フロー)と、被害と損失(ロス&ダメージ)の扱い

3

2020年以前を入れるか

1.1 方向性ある書きぶりか、ニュートラルな書きぶりか。

方向性のある書き方



など。

- ロードマップを含む
- NDCへのガイダンスの部分を「システム変革」と、フォーワードルッキングな側面を強化

ニュートラルな書き方

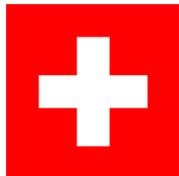


など。

- ロードマップは入れない。
- NDCへのガイダンスの部分をガイダンスと呼ばず、Way forward という形にすること。

1.2 2.1.c(資金フロー)と、被害と損失(ロス&ダメージ)の扱い

資金フローを独立して入れる



など.

資金フローを独立して入れない



など.

L&Dを独立して入れない



L&Dを入れない



など.

L&Dを独立して入れる



など.

1. GSTについて:第3フェーズの行方

これまでの作業を踏まえて含まれるべき内容:

- 非国家アクターに対する説明責任を改善する必要性を認識し、新たな評価メカニズムに関する作業を開始すること
- 1.5°Cのための、化石燃料の緊急かつ公正で衡平な段階的廃止
- 資金拠出の追加性と透明性
- 公正なクリーンな移行に向けた資金のスケールアップ
- エコシステムの保護と回復
- 2030年前と後の排出削減
- より広範な適応行動の認識
- 人権

結局

- パリ協定交渉時に近い議論になっており、
- ずっと続いている資金の約束不履行にともなる信頼の欠如が大きく影響している。

COP28にむけて

GSTで大事となるのは:

1. 1.5度目標と現状のNDCや実施状況との間には大きな乖離が存在
2. 2030年までの削減を進めなければならない
3. この2つのギャップ(排出ギャップと実施ギャップ)を埋める必要
4. 同時に、緩和のみならず、適応、被害と損失、実施手段、資金、技術移転、キャパビル等を同様にカバーする必要がある。これらにおける成果も重要
5. 市民社会にとって、特に説明責任や人権に基づくことなどが、分野横断的テーマとしてきっちり盛り込まれることは重要
6. COP28で成果を採択する。容易な交渉とはならないだろう。

ご清聴ありがとうございました！

GREENPEACE